

令和4年度 沖縄県立八重山高等学校 国語科「現代文B」シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
現代文B	2	2	全	必修	普通科

1. 概要及び目標

近代以降のテキストを用いた言語活動を通して、実社会および実生活に用いる国語の思考法を育成するとともに、考える力、想像する力、表現する力、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価の観点及び内容、方法

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
内容	国語の資質能力を自ら進んで高めるとともに、国語を価値づけて自己に生かしたり、他者や社会と結びつけたりしようとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	情報を取捨選択し、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書いている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて関連づけてりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
方法	・授業内言語活動 ・学習プリント等 ・振り返り等	・授業内言語活動 ・学習プリント等 ・定期考査			・授業内言語活動 ・学習プリント等 ・週テスト ・定期考査

3. 成績

① 授業

授業への出席状況や発問に対する応答、言語活動等への主体的な姿勢を評価する。

② 提出物

授業の進度に応じて自宅学習向けに課題を課すことがある。また、長期休業中には学習課題を課す。授業時の学習プリントや作成物等も提出させ評価に加味する。

③ 定着テスト(週テスト)

毎週金曜日を原則として、「漢字」「現代文単語」のいずれかの定着テストを5分程度行う。

④ 定期考査

学期ごとに中間考査および期末考査を実施する。但し、3学期は学年末考査のみを実施する。

⑤ 成績

定期考査60%、週テスト10%、授業内活動10%、その他提出物等20%で総合評価を行う。

4. 使用教科書・教材

教科書:『高等学校 改訂版 現代文B』(第一学習社)

副教材:『セレクト漢字検定 5級—2級 確認と演習 三訂版』(桐原書店)

『イラストとネットワーキングで覚える 現代文単語 げんたん 改訂版』(いいずな書店)

『巻頭増補版最新国語便覧』(浜島書店)

5. 授業展開

1組(発展クラス)は単独授業。2組は1クラス2展開、3・4組と5・6組はそれぞれ2クラス3展開の習熟度別授業を行う。成績と希望を総合的にふまえ、2学期はじめに入れ替えを予定している。

6. 授業形態

- ① 新年度始めに、「現代文B」の授業についてのオリエンテーションを行う。
- ② 授業は「年間計画」に従って行い、適宜課題や定期考査等で学習内容の定着を図る。
- ③ 授業では教科書、学習プリント等の配布物や国語便覧等の資料を適宜活用する。

7. その他(履修上の注意)

現代文はセンスではなく知識と論理で臨む科目です。理解の仕方については、授業内での思考法や本文を根拠に自主的に復習をして理屈で理解しましょう。また、本校ではリクルート社の「スタディサプリ」を導入しています。予習、復習に活用してください。